

日本女性会議2014札幌

～未来の景色はわたしたちが変える～参加報告

去る平成26年10月17日（金）～19日（日）北海道札幌コンベンションセンターで開催され、さんかく21・安城から16名（公費1名、自費15名）が参加してきました。

基調報告、15分科会、特別講演、記念講演、シンポジウムなど、様々な研修をしてきましたので、その一部をご紹介します。



基調報告

「女性が輝く社会に向けて
～家事場のパパチカラ」

分科会

特別講演 記念講演

シンポジウム

2014年6月「日本再興戦略」改訂が閣議決定されました。「女性が輝く日本」の実現に向けて、各地域において応援会議をしたり、主婦等が育児等の経験を生かして能力を最大限発揮できるよう、平成27年3月に女性のチャレンジを応援するための専用サイトを開設予定です。

「女性が活躍する社会に向けて～アメリカから日本の女性へのメッセージ」

「女性が社会で活躍するためには、視野を広げ、様々な意思決定と覚悟、やり遂げる精神力と努力、そして協力者が必要」という、ダーナ・ウィルトン氏（在京米国大使館公使）の言葉に感動し、励みにしていきたいと思いました。

「100歳まで弾くからね！～母としてコンサートマスターとして」

気も愛もエネルギーも自分から発することが大事

【大平まゆみ氏】

「強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ」

男女の違いの中で価値観を見出す 【山口 香氏】

「今、ここから始まる。」

3名のシンポジストから、男女共同参画社会実現のための提言がありました。

- ①女性蔑視の社会意識を改革していく
- ②やれば出来る実感を得る
- ③男女の違いを意識しない

2015年は倉敷開催です。皆様と一緒に参加しましょう。